



味ひとすじ 永谷園



目次

株主の皆様へ……………	1
業績の概況……………	2
四半期連結財務諸表（要旨）……	3
トピックス……………	4
新商品情報……………	5
会社概況・株式情報……………	6

株式会社 永谷園ホールディングス 第70期 事業のご報告(中間)

2022年4月1日から2022年9月30日まで

証券コード：2899

お客さまに思いを馳せ、私達にできることを考え抜く。
その志なくして「味ひとすじ」はあり得ません。

「味ひとすじ」とは

1. 今までにない
2. お客さまに「なるほどおいしい」と感じてもらえる
3. 他社にマネが出来ない

そういう商品を出し続けるという「決意」なのです。

※筆文字「味ひとすじ」は創業者 永谷 嘉男の筆によるものです。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第70期第2 四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の事業の概況及び決算についてご報告申し上げます。

当第2 四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取り組み等により、経済社会活動の正常化が進む中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復の動きが続いております。しかしながら、原材料価格の高騰、ウクライナ情勢の長期化、急激な円安の進行等、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「企業戦略の充実」と「新価値提案力の更なるアップ」を経営課題として企業活動を行ってまいりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中においては、従業員の健康と安全の確保を最優先とした上で、食品メーカーの使命として社会的責任を果たすべく、商品の安定的な生産・供給体制の維持に尽力してまいりました。国内食料品事業では内食需要の高まりがやや落ち着いたものの、海外食料品事業では、家庭用商品における需要の高まりにより業績は堅調に推移いたしました。また、中食その他事業では、行動制限のない大型連休を中心に来店客数が増加したことに加えて、各種の販売促進企画を実施したことにより業績は回復基調で推移いたしました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響については軽微であります。この結果、当第2 四半期連結累計期間の業績は、売上高51,840百万円（前年同期比13.1%増）となりました。利益面については、営業利益2,473百万円（同9.5%減）、経常利益3,119百万円（同5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,914百万円（同6.2%増）となりました。

今後とも、更なる業績向上に向け、引き続きグループ一丸となって邁進してまいります。
株主の皆様におかれましては、何卒今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

取締役社長

永谷 泰次郎

業績の概況

国内食料品事業

連結売上高：26,459百万円

永谷園では、新商品として、海鮮具材を加えなくても、付属の調味ソースを使うだけで「あさり、海老、たら、イカ」の旨みを効かせた風味豊かな海鮮スープができる「煮込みラーメン 海鮮ちゃんぽん味」を発売いたしました。また、国内製造のだし原料を使用し、だしの旨みや香りを手軽に楽しむことができる新シリーズ「だしごこち」や、永谷園初のオートミール専用商品として、おいしく、楽しく、飽きずに続けられるスープごはんの素「旅するSOUP MEAL」シリーズを立ち上げることで市場の活性化を図ってまいりました。販売促進施策としては、一部地域において、袋詰めピーマンと永谷園の春雨・ピーマン惣菜と一緒にご購入いただいた方の中から抽選で景品が当たる「永谷園麻婆春雨とピーマンを買って当てようキャンペーン」等を実施することで需要の喚起を図ってまいりました。

海外食料品事業

連結売上高：19,320百万円

Chaucerグループでは、顧客ニーズに合わせたフリーズドライ商品の研究開発、品質向上、及び売上拡大に取り組んでまいりました。販売においては、既存の商品の売上拡大を進めるとともに、新商品の拡販を進めてまいりました。特に、米国市場においては、健康食品向け等の新たな市場の拡大を進めてまいりました。欧州市場においては、グローバル企業への売上拡大に努めてまいりました。アジア市場においては、中国における販路の開拓及び当社グループの販売チャネルを活かして日本市場への売上拡大を進めてまいりました。

また、MAIN ON FOODSグループでは、米国市場においては、麺商品及び粉商品のサプライヤーとして多数の外食企業、食品メーカー及び小売業との着実な取引拡大を進めてまいりました。研究開発においては、健康意識の高まりによる多様な消費者ニーズに応えるため、機能性食品等の高付加価値商品や個食のミールキットタイプの新商品の開発にも努めてまいりました。

中食その他事業

連結売上高：5,980百万円

麦の穂グループでは、新型コロナウイルス感染症への対応について、お客様の安全を図るとともに従業員が安心して働けるよう店舗における感染症予防対策を徹底する等の取り組みを進めてまいりました。このような状況の下、シュークリーム専門店“ビアドパパ”では、全国の対象店舗でのお買い物にご利用いただけるデジタルチケット「eギフト」の販売を開始いたしました。加えて、日頃のご愛顧に感謝をこめて8月8日の“ビアドパパの日”に「88（パパ）セット」を特別価格で販売する大感謝祭を開催いたしました。また、生仕立てわらび餅専門店“きなこととり”では、すだちの清涼感ある軽やかな香りとほのかな苦み、それに合わせるきな粉の深い香りと大豆の旨みがクセになる「きなこととりわらび餅“すだち”」を新商品として販売すること等により、顧客獲得に努めてまいりました。



四半期連結財務諸表（要旨）

■四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)		
科 目	当第2四半期末 (2022年9月30日現在)	前年度末 (2022年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	42,738	40,901
固定資産	53,348	50,957
有形固定資産	32,777	30,548
無形固定資産	9,850	9,137
投資その他の資産	10,719	11,271
資産合計	96,086	91,859
(負債の部)		
流動負債	34,522	27,789
固定負債	22,622	28,380
負債合計	57,144	56,169
(純資産の部)		
株主資本	35,997	34,370
その他の包括利益累計額	572	△712
非支配株主持分	2,370	2,032
純資産合計	38,941	35,689
負債純資産合計	96,086	91,859

■四半期連結累計期間損益計算書

(単位：百万円)		
科 目	当第2四半期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	51,840	45,833
売上原価	36,730	31,185
売上総利益	15,109	14,648
販売費及び一般管理費	12,636	11,915
営業利益	2,473	2,733
営業外収益	885	901
営業外費用	239	332
経常利益	3,119	3,301
特別利益	57	1
特別損失	33	163
税金等調整前四半期純利益	3,142	3,139
法人税等	1,022	960
四半期純利益	2,119	2,179
非支配株主に帰属する四半期純利益	205	376
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,914	1,802

■四半期連結累計期間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)		
科 目	当第2四半期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前第2四半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,536	1,965
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,469	△2,103
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,879	△839
現金及び現金同等物に係る 換算差額	25	272
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△1,786	△704
現金及び現金同等物の 期首残高	9,142	8,601
現金及び現金同等物の 四半期末残高	7,355	7,897

トピックス

永谷園 「お茶づけカー日本周遊企画」 全国各地訪問中

永谷園では「お茶づけカー日本周遊企画」と題して、お茶づけ海苔パッケージの定式幕にめざまし茶づけキャラクターを配したラッピングカーが各地を訪れています。2022年5月には、永谷園のルーツであり江戸時代に煎茶の製法を発明した永谷宗七郎（宗円翁）生誕の地、京都府宇治田原町を訪問。地元幼稚園の茶摘みイベント等に参加しました。

この日本周遊企画の模様は永谷園公式Twitter（@nagatanien_jp）で発信していますのでぜひご覧ください。



永谷園 「朝ごはんの大切さ」を学ぶ小学校授業を実施



東京学芸大学附属世田谷小学校での授業の様子

永谷園では、2022年9月から約2か月にわたって、全国47都道府県の小学校で「朝ごはんの大切さ」を学ぶ授業を実施しました。

生活のリズムが切り替わる新学期のタイミングに、朝が苦手なお子様にも朝ごはんを楽しみながら食べてもらうきっかけづくりとして、本企画を実施しました。

全国より募集し選出された小学校47校（各都道府県で1校）の低学年児童約4,000人に対し、朝ごはんを食べると一日を元気にスタートするために大切な「あたま・からだ・おなか」のスイッチが入ることや、永谷園が2020年より提案している「めざまし茶づけ」について等、スライド資料や先生の言葉を通して楽しく学んでいただける授業となりました。

麦の穂 生仕立てわらび餅 テイクアウト新業態「きなこととろり」オープン

麦の穂は、2022年に生仕立てわらび餅のテイクアウト専門業態「きなこととろり」をオープンしました。

本業態は、歴史ある京都の菓子茶房をルーツに持つ、きな粉を中心としたスイーツブランド「吉祥菓寮」の派生ブランドです。「[はんなり、とろり、生仕立て。]」をコンセプトに、毎日お店で作る「とろり」と口だけの良いわらび餅に風味豊かな「吉祥菓寮」のきな粉を合わせました。

厳選国産大豆ミヤギシロメから作ったきな粉を使用した看板商品「深みきな粉ーミヤギシロメー」のほか、日本の四季折々の素材を使用したさまざまな季節のわらび餅まで、毎日お楽しみいただける商品を取り揃えています。

2022年10月現在、京都祇園本店（京都府）、ウィング新橋店・ヨドバシAkiba店（東京都）の3店舗を展開しています。



永谷園 だしごこち だし茶づけ・だしふりかけ



- 忙しい毎日の中でも手間暇をかけることなく手軽に「日本の伝統文化であるだし」をお楽しみいただけるお茶づけ・ふりかけシリーズです。
- 厳選した国内製造のだし原料を使用し、着色料・香料は不使用。だしの旨みと香りを大切にし、自然な味わいに仕上げました。
- インターネット通販LOHACOほか、一部小売店での限定販売です。

2022年9月発売

永谷園 フリーズドライ あさげ・ひるげ・ゆうげ



- フリーズドライのみそを使った粉末タイプみそ汁のロングセラー商品が、環境に配慮した紙パッケージに生まれ変わりました。
- 「あさげ」は2種類の米みそをブレンドした合わせみそ、「ひるげ」はコクのある豆みそ、「ゆうげ」はまろやかな味わいの白みそを使用。献立に合わせてお好みの味をお選びください。

2022年9月発売

永谷園 旅するSOUP MEAL



- 世界のさまざまな味を取り揃えた、お米の代替品として人気の高いオートミール専用のスープご飯の素です。
- 発酵調味料を隠し味に加え、オートミールが持つ穀物由来の独特な味をやわらげ食べやすくしました。
- オートミールに本品と水を入れて、電子レンジで温めるだけの手軽さです。

2022年8月発売

藤原製麺 いそのかづお札幌ブラック生ラーメン



- 札幌すすきの繁盛ラーメン店「いそのかづお」監修、真っ黒なスープの人気醤油ラーメン「札幌ブラック」をチルド麺で再現しました。
- コク深いたまり醤油と玉ねぎの甘み、ニンニクの旨みをしっかり特徴づけしました。

2022年8月発売

■会社の概況

商号 株式会社永谷園ホールディングス
会社設立 1953年4月
資本金 35億円
従業員数 149名（当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む）
事業所 〒105-8448 東京都港区西新橋二丁目36番1号
連結子会社 ●国内食料品事業
(株)永谷園 (株)永谷園フーズ
(株)サニーフーズ 藤原製麺(株)
●海外食料品事業
Broomco (3554) Limited
Broomco (3555) Limited
Chaucer Foods Limited
Chaucer Foods UK Limited
Chaucer Foods SAS
Chaucer Foods (Qingdao) Co. Limited
MAIN ON FOODS, CORP. 他10社
●中食その他事業
(株)麦の穂ホールディングス
(株)麦の穂
Muginoho International, Inc.
NAGATANEN USA, INC.
NAGATANEN RS FOODS, LLC 他4社

■株式の状況

発行可能株式総数……………58,000,000株
発行済株式総数……………19,138,703株
株主数……………15,105名
大株主

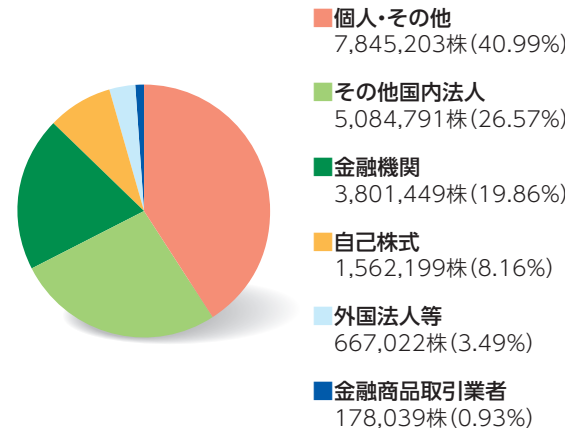
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱商事株式会社	2,084	11.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,100	6.26
株式会社三菱UFJ銀行	766	4.36
永谷 栄一郎	716	4.08
永谷 泰次郎	716	4.08
松竹株式会社	616	3.50
大正製薬ホールディングス株式会社	565	3.21
株式会社みずほ銀行	544	3.10
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	524	2.98
大日本印刷株式会社	382	2.18

(注) 1. 当社は、自己株式を1,562,199株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■取締役・監査役・執行役員

代表取締役・取締役会長	永谷 栄一郎
取締役相談役	永谷 明
代表取締役・取締役社長	永谷 泰次郎
取締役副社長	永谷 祐一郎
専務取締役・専務執行役員	今村 忠如
社外取締役	迫本 栄
社外取締役	山崎 長二
常勤監査役	永谷 竜一
常勤監査役	松村 雅彦
社外監査役	柳澤 義一
社外監査役	井ノ上 正男
執行役員	木内 美章
執行役員	江口 輝
執行役員	山根 浩一
執行役員	小川 美朋
執行役員	伊藤 光広
執行役員	渡邊 安郎
執行役員	内田 幸治
執行役員	大田 昌弘
執行役員	富田 秀和

■株式の所有者別分布状況



株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金支払株主確定日	3月31日（期末配当） 9月30日（中間配当）
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス https://www.nagatanien-hd.co.jp/ir/
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関（連絡先）	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都府中市日鋼町1-1 0120-232-711（フリーダイヤル） 受付時間 平日9時から17時 【郵送先】 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

<配当金のお支払いについて>

- 口座振込をご指定の方につきましては、「配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認」を同封いたしましたので、ご確認ください。
- 「配当金領収証」でお受け取りの方につきましては、同領収証裏面に記載の方法によりお受け取りください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<マイナンバーのご提出について>

- マイナンバーのご提出がお済みでない株主様は、お取引のある証券会社等へご提出をお願いいたします。

株主総会資料の電子提供制度に関する対応について

当社は2022年6月29日開催の第69回定時株主総会において、株主総会資料の電子提供制度導入に備えるための定款変更を決議いたしました。株主様への情報のご提供を重視し、2023年6月に開催予定の第70回定時株主総会においては、書面交付請求の有無に関わらず、従来と同様に株主総会資料や議決権行使書を一律に書面でお届けする予定です。

※法令及び定款により認められる範囲で、株主総会資料の一部内容はウェブサイトのみでの開示とさせていただきます。

※このような対応を終了し、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただいた株主様に限り書面交付を行う際は、事前に株主様へお知らせいたします。

株式会社 永谷園ホールディングス

〒105-8448 東京都港区西新橋 2-36-1
TEL 03-3432-3105 FAX 03-3432-7082
<https://www.nagatanien-hd.co.jp/>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



この報告書は環境保全のため、FSC®認証紙を使用して、植物油インキで水なし印刷をし、針金を使わないECOとじ製本をしています。